



株式会社カynos

第50期ビジネスレポート 2024年4月1日 ▶ 2025年3月31日

トップメッセージ

ごあいさつ

株主の皆様へ

株式会社カインスは、1975年の創業から今年5月1日に創立50周年を迎えました。これもひとえに、お客様や株主の皆様、取引会社様並びに従業員各位とご家族など、多くの方々のご支援とご厚情の賜物と、心より御礼申し上げます。

当社はこれまで、体外診断用医薬品の製造販売会社として、医療と予防医学への貢献に向け、医療現場のニーズと市場動向を分析し、独創的な製品を開発して世の中に提供し続ける事を目指してまいりました。

世界に先駆けて酵素を利用した「血清トランスアミナーゼ測定試薬」などを発売して以来、生化学、免疫血清学及び遺伝子検査領域で様々な製品を提供しており、例えば2018年に保険収載された「カルニチン測定試薬」及び「ADAMTS13 活性測定試薬」は、いずれも確定診断と治療方針の決定に貢献しています。

さらに、2024年に上市した、敗血症の診断マーカーである「プロカルシトニン測定試薬」は、一般病院に常設されている汎用の自動分析装置に搭載可能な唯一の検査試薬として、従来の腎機能や肝機能検査項目とともに、医療現場での検査の迅速化と業務の効率化に寄与しております。また、輸血検査分野においては、日本市場にマッチした

医療機器と関連製品を積極的に展開しています。

臨床検査薬業界全体も常に変化しており、お客様のニーズも多様化しています。今後も医療現場のご要請に応えるべく、自社技術の活用に加え、国内外の新たな技術や製品を積極的に導入し、顧客第一に独創的かつ高品質な製品供給を継続してまいります。

2025年6月



代表取締役社長 長津行宏

中長期経営戦略

中長期的な会社の経営戦略

医療業界では、少子高齢化の進行や人口減少に伴う労働力の減少に加え、医療費抑制に向け医療制度等の改革が求められ各医療機関では厳しい経営環境が続いてきました。臨床検査業界におきましては、国内の検査市場は成熟し飽和傾向ながら、インフルエンザ感染症をはじめ、新型コロナウイルス対策の下で抑えられていた様々な既存感染症が急拡大し、コロナ禍以前の状況に戻っています。こうした感染症検査をはじめ、各種疾患の診断や治療等に不可欠な臨床検査試薬や医療機器の重要性は変わることなく、臨床的に価値ある検査の継続的な供給に添えていくことが求められています。

当社は、医療分野における臨床検査に必要な各種検査試薬や機器の開発から製造・販売まで一貫して担い、体外診断用医薬品及び医療機器の製造販売会社です。臨床検査が占める役割と価値を認識し、多様化する医療現場のニーズと市場動向を分析し、独創的な製品開発を実施し、世の中に提供し続けます。各種治療に直結する早期診断や予防医学に繋がる臨床検査試薬が希求される中、当社は既存の臨床検査試薬・機器事業の拡充と共に、提携企業各社との協業を強化し、ユーザーニーズをいち早く取り入れた診断薬の開発・製造販売を目指し、事業拡大につなげてまいります。

研究開発活動面では、既存試薬の性能改良のみならず、社外からの新技術や製品導入を強化し、新製品の早期製品化を推進してまいります。生産活動面におきましては、生産効率の改善と品質安定化に寄与する製造機器等を効果的に導入し、QMS（国内品質基準）を満たす高品質で安定した製造体制を維持・拡大してまいります。また、営業・学術活動面では、敗血症診断用プロカルシトニンキット「LATECLE PCT試薬」の更なるシェア拡大を目指し、あわせて生化学・免疫・輸血の各種検査製品の拡販に一層注力してまいります。

今後も、総合的に投資効率を高め、各種法令を遵守するとともに、内部統制システムとコンプライアンス体制の強化に努め、収益力の安定と拡大を目標に市場の動向や顧客ニーズを的確に捉えた事業展開を行い、当社の企業活動に関するステークホルダーへの利益還元と継続的な信頼関係を構築し、企業の社会的責任を果たしてまいります。

今後の見通し

当社におきましては、プロカルシトニンキットの積極的な学術及び販売活動に注力し、当初の目標である年間売上高1億円を概ね達成しました。また、既存の生化学検査試薬や輸血検査を含む免疫検査試薬等の販売と継続的な品質改善に取り組んでいます。次期（2026年3月期）の業績見通しにつきましては、売上高は55億円（前期比3.7%増）、営業利益は8億5千万円（前期比3.2%増）、経常利益は8億5千万円（前期比2.6%増）、当期純利益は6億円（前期比6.4%減）と予想しております。

カイノス50年の歩み

1975年

5月 | 新しい製品の開発を主旨として株式会社ドムスヤトロンを設立

7月 | 株式会社カイノスへ商号変更

1976年

9月 | 世界に先駆け、酵素法による血清トランスアミナーゼ測定試薬を発売

1983年

4月 | 酵素法によるクレアチニン測定試薬を発売



1993年

8月 | 生産拠点を笠間工場に移転し、生化学・免疫血清試薬の生産を開始



1995年

10月 | 本社を東京都文京区本郷に移転

12月 | 日本証券業協会に株式を店頭登録
(現 株式会社東京証券取引所)



● 2006年

5月 | 「ISO13485」認定取得

● 2011年

9月 | グリフォルス社（スペイン）と輸血事業に関する販売契約を締結

● 2018年

2月 | 酵素サイクリング法に基づく血中カルニチン測定試薬による血中カルニチンの2分画検査の保険適用化

4月 | ADAMTS13 活性測定試薬による血栓性血小板減少性紫斑病診断薬の保険適用化



● 2024年

1月 | 国内初の汎用の自動分析器装置に搭載可能なプロカルシトニン測定試薬を発売



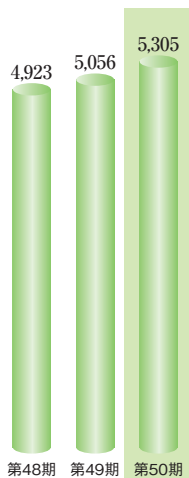
● 2025年

5月 | 創立50周年

財務ハイライト

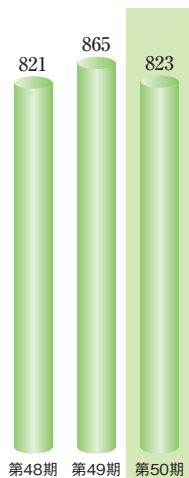
● 売上高の推移

(単位：百万円)



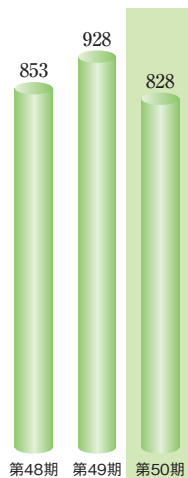
● 営業利益の推移

(単位：百万円)



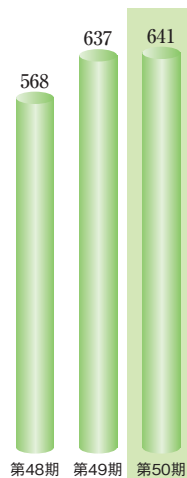
● 経常利益の推移

(単位：百万円)



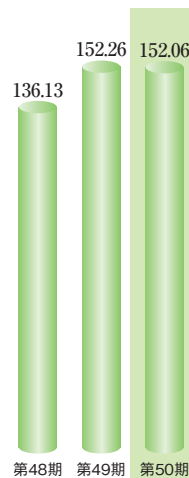
● 当期純利益の推移

(単位：百万円)



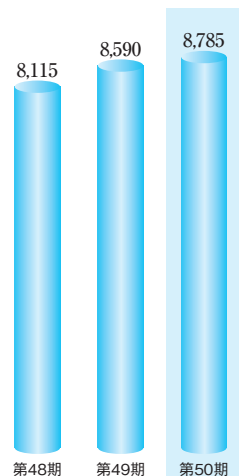
● 1株当たり当期純利益の推移

(単位：円)



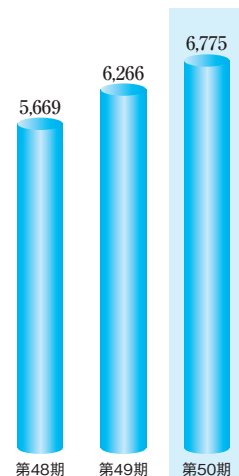
● 総資産の推移

(単位：百万円)



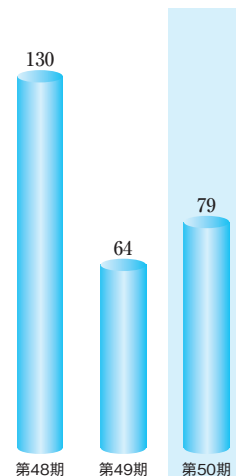
● 純資産の推移

(単位：百万円)



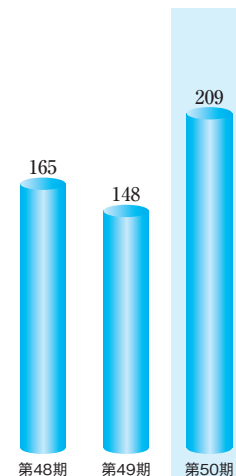
● 設備投資額の推移

(単位：百万円)



● 研究開発費の推移

(単位：百万円)



売上高構成

遺伝子検査、機器関連 他

2.8 億円 (5.3%)

免疫検査

27.5 億円 (51.9%)

売上高構成比
(当期)

53.0
億円

生化学検査

22.7 億円 (42.8%)

生化学検査



新規採用の遅れ等で、売上高は22.7億円、前期比1.7%減と前期同水準となりました。当社の主力製品であるクレアチニンや尿素窒素（UN）等の腎機能検査項目を中心とした拡販に注力しています。

免疫検査



輸血検査試薬、腫瘍マーカー及び敗血症検査項目のプロカルシトニン等が順調に推移し、売上高は27.5億円となり、前期比11.8%増となりました。

遺伝子検査 機器関連 他



輸血検査機器、遺伝子検査キット等の売上高は2.8億円、0.8%減と前期同水準となりました。輸血検査機器の新規設置及び既存設置施設の更新を進めています。

財務諸表

貸借対照表

(単位：千円)

科 目	第49期 (2024年3月31日現在)	第50期 (2025年3月31日現在)	増減額
流 動 資 産	5,693,656	5,820,525	126,869
固 定 資 産	2,897,328	2,964,618	67,290
資 産 合 計	8,590,984	8,785,144	194,160
流 動 負 債	1,980,424	1,456,639	△ 523,785
固 定 負 債	344,272	553,325	209,053
負 債 合 計	2,324,697	2,009,965	△ 314,732
資 本 金	831,413	831,413	0
資 本 剰 余 金	940,233	940,233	0
利 益 剰 余 金	4,649,506	5,148,152	498,646
自 己 株 式	△ 247,182	△ 247,182	0
株 主 資 本 合 計	6,173,971	6,672,617	498,646
その他有価証券評価差額金	92,315	102,561	10,246
評価・換算差額等合計	92,315	102,561	10,246
純 資 産 合 計	6,266,287	6,775,178	508,891
負 債 純 資 産 合 計	8,590,984	8,785,144	194,160

損益計算書

(単位：千円)

科 目	第49期 (2023年4月 1日から 2024年3月31日まで)	第50期 (2024年4月 1日から 2025年3月31日まで)	増減額
売 上 高	5,056,464	5,305,569	249,105
売 上 原 価	2,504,737	2,631,203	126,466
売 上 総 利 益	2,551,726	2,674,365	122,639
販売費及び一般管理費	1,686,513	1,850,766	164,253
営 業 利 益	865,212	823,598	△ 41,614
営 業 外 収 益	106,613	13,296	△ 93,317
営 業 外 費 用	43,320	8,702	△ 34,618
経 常 利 益	928,505	828,192	△ 100,313
特 別 利 益	3,692	772	△ 2,920
特 別 損 失	2,127	1,809	△ 318
税引前当期純利益	930,069	827,155	△ 102,914
法人税、住民税及び事業税	299,704	236,035	△ 63,669
法 人 税 等 調 整 額	△ 7,600	△ 49,900	△ 42,300
当 期 純 利 益	637,965	641,019	3,054

キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	第49期 (2023年4月 1日から 2024年3月31日まで)	第50期 (2024年4月 1日から 2025年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	430,578	704,782
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 72,828	△ 71,304
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 203,726	△ 411,037
現金及び現金同等物に係る換算差額	12	△ 1
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	154,035	222,439
現金及び現金同等物の期首残高	2,679,848	2,833,883
現金及び現金同等物の期末残高	2,833,883	3,056,322

トピックス

生化学試薬の拡販・拡充に向けて アクアオート カイノス GLU-II 試薬を新発売

2024年10月23日発売

NEW アクアオート カイノス GLU-II 試薬

熱安定性が向上したグルコース（GLU）試薬を発売しました！

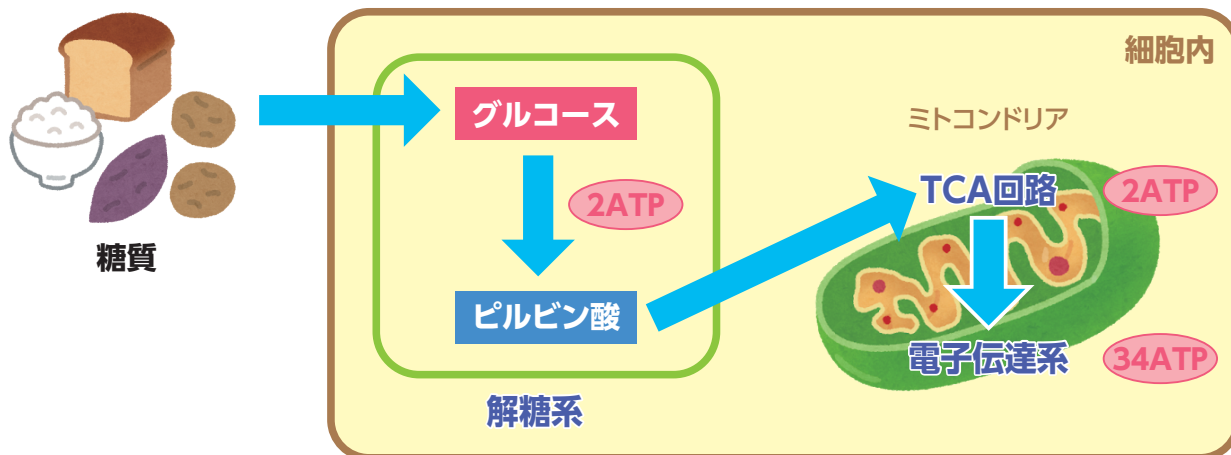
グルコース（GLU）って何？

グルコース（ブドウ糖）は、生体内でのエネルギー通貨であるATPを生産するのに必要な物質です。

血液中のブドウ糖（血糖）が慢性的に高くなる疾患が糖尿病ですが、GLUは糖尿病の診断マーカーです。



グルコースの生体内での働き 生体内でのエネルギー通貨であるATPの生産に必要です。



KAINOSマメ知識

9項目含有 標準液

- リキッドキャリブレーター「カイノス」

業界初！ 冷蔵保存のマルチキャリブレーター

- 血清キャリブレーター「マルチ9」

表示値固定のマルチキャリブレーター

マルチキャリブレーターに含まれる測定項目・対象病態

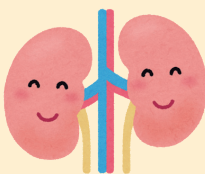
クレアチニン

腎機能



尿素窒素

腎機能



尿酸

痛風・腎臓病



グルコース

糖尿病



無機リン

腎臓・副甲状腺機能



カルシウム

骨・歯の形成
神経・筋の興奮
血液凝固



マグネシウム

骨・歯の形成
神経や筋肉の機能



総蛋白

肝機能・栄養状態



アルブミン

肝・腎機能
栄養状態



会社概要 (2025年6月19日現在)

商 号 株式会社カイノス
KAINOS Laboratories, Inc.
本社所在地 東京都文京区本郷二丁目38番18号
設 立 1975年5月
代 表 者 代表取締役社長 長津 行宏
資 本 金 831,413千円
従 業 員 数 157名(2025年3月31日現在)
主要取引銀行 (株)みずほ銀行、(株)りそな銀行、(株)商工組合中央金庫、
(株)三菱UFJ銀行、(株)常陽銀行
事 業 内 容 1. 医薬品、体外診断用医薬品、化学薬品等の開発・製造販売及び
輸出入
2. 医療用理化学測定機器、医療機器等の開発・製造販売及び輸出入
3. 滋養品・食料品・飼料等の開発・製造販売及び輸出入
4. その他前各号に附帯する一切の業務

役 員 (2025年6月19日現在)
代表取締役社長 長 津 行 宏
常 務 取 締 役 林 野 伸 司
取 締 役 中 野 伸 朗
社 外 取 締 役 菊 地 謙 治
社 外 取 締 役 岡 島 大 介
社 外 取 締 役 工 藤 恵 子
社 外 取 締 役 飯 塚 健 介
※ 常 勤 監 査 役 水 口 啓 一
※ 常 勤 監 査 役 梅 原 健
※ 監 査 役 猪 原 玉 樹
※水口啓一氏、梅原健氏及び猪原玉樹氏は、社外監査役であります。
社外取締役菊地謙治氏、社外監査役猪原玉樹氏及び梅原健氏に
つきましては、株式会社東京証券取引所に対して、独立役員として届
け出ております。

ネットワーク (2025年6月19日現在)

本 社 〒113-0033
東京都文京区本郷二丁目38番18号
研 究 所 〒309-1635
笠間市稲田字弥六内3番5
笠 間 工 場 〒309-1635
笠間市稲田字弥六内3番5
配送センター 〒309-1635
笠間市稲田字弥六内3番5
札幌営業所 〒060-0809
札幌市北区北9条西三丁目10番地
仙台営業所 〒984-0011
宮城県仙台市若林区六丁目の目西町8番1号
東京営業所 〒113-0033
東京都文京区本郷二丁目38番18号
名古屋営業所 〒464-0802
名古屋市中千種区星ヶ丘元町14番70号
大阪営業所 〒533-0031
大阪市東淀川区西淡路一丁目1番32号
広島営業所 〒730-0014
広島市中区上幟町7番3号
福岡営業所 〒812-0013
福岡市博多区博多駅東一丁目14番34号

株主メモ

事 業 年 度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当基準日 3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)
定 時 株 主 総 会 毎年6月
単 元 株 式 数 100株
株主名簿管理人 〒100-8241
東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
みずほ信託銀行株式会社

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物 送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区泉二丁目8番 4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い 合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細 発行については、右の「特別 口座の場合」の郵便物送付 先・電話お問い合わせ先・お 取扱店をご利用下さい。	

公 告 方 法 電子公告 (<https://www.kainos.co.jp>)
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告に
よる公告をすることができない場合には、日本経
済新聞に掲載して行います。



カインスは、ギリシャ語の「新生の、革新的な」(καλινος)を意味する言葉に由来します。いつまでも新鮮な気持ちで広い視野を持ち、医療の世界へ貢献していきたいと願う、創立からの想いが込められています。

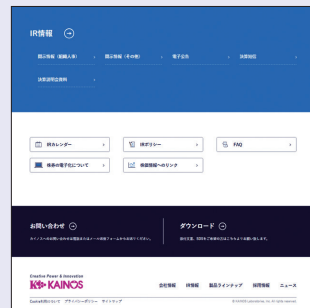
カインスの「ブドウ」のロゴは、新しい思想や内容を実現するには、それにふさわしい体制が必要であるという新約聖書のことわざから用いています。

“Don't put new wine into old bottles.”(新しいブドウ酒を古い革袋に入れるな!)

インターネットのホームページでも カインスの情報がご覧いただけます。

医療情報や話題の新製品などの情報から、検査に関する専門知識や豆知識、新技術の紹介など、多彩なメニューを開設しています。

<https://www.kainos.co.jp>



株式会社 **カインス**

本社 〒113-0033 東京都文京区本郷二丁目38番18号

Tel : (03)3816-4123

Fax : (03)3816-6550

